

陳情の審査結果 一件

総務文教常任委員会

陳情第1号

義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元することを求める意見書の採択に関する陳情書

陳情者

群馬県教職員組合甘楽支部 支部長 江原孝明

審議結果 採択

理由

義務教育は公平であるべきで、「教育水準」に格差があってはならない。義務教育費国庫負担の縮小は、財政の厳しい自治体における義務教育に必要な財源の確保を困難にさせ、自治体の財政力による地域間格差を生じさせることにつながり、義務教育行政の円滑な推進に重大な影響を及ぼすものである。本陳情はよく理解できるとの意見の一致をみた。よって、採択すべきものと決定した。

意見書

義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元することを求める意見書

提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣

第3回臨時会

平成25年7月5日（金）に第3回臨時会が開催されました。

◇議会の議決を要する契約に関して、承認可決をしました。

町長提出議案1件

○市街地整備総合交付金（福島・白倉地区）防災空間造成工事

★★デマンドタクシー順調な滑り出し★★

登録者が6月30日現在で332名。利用者は同日現在で273人、一日当たり9.1人が利用しているという、まずまずの滑り出しであります。

25区下平地区のおたっしや会のご婦人8名は、小幡地区散策にデマンドタクシーを利用。オープン間もない信州屋で一息つき、歩いて物産センターで食事と買い物を楽しんで帰られました。参加者の天引下平地区おたっしや会会長横山マサ子さんは「今までボランティアの皆さんにお世話になっていたが、今度デマンドタクシーが運行されたのを機に仲間8人と小幡地区へ散策をしてみました。信州屋で休憩し、物産センターで食事、買い物をして楽しい一日を過ごしました。」と語ってくれました。



表紙の説明